

7/20
~9/1

市立郷土資料館特別展示

甲子園の足跡~枝川・申川から甲子園へ

市立郷土資料館では、8月に開場100周年を迎える阪神甲子園球場を記念した特別展示を開催します。

特別展示では、地名として「甲子園」が付されている地域とその周辺を甲子園地域としてとらえ、かつて枝川・申川があったころの甲子園周辺地域の様子や、両河川の廃川、「甲子園大運動場(甲子園球場)」の誕生、スポーツの聖地や優良郊外住宅地化する様子など、甲子園地域の足跡をたどります。詳細は市のホームページでご確認ください。

開催日時 7月20日(土)から9月1日(日)の午前10時~午後5時
(入館は4時半まで。月曜休館)

▶関連事業を開催

学芸員による展示解説

【日時】7月27日(土)、8月17日(土)の午前10時半~
※各回の内容は同じ
【定員】各20人。当日先着順(各回受付は30分前から)

武庫川女子大学名誉教授の丸山健夫さんによる特別講演会

【日時】8月10日(土)午後1時半~
【定員】50人。先着順
【申込】7月14日から市のホームページ



西宮市鳥瞰図(甲子園付近拡大)▶

昭和11年(1936年)に吉田初三郎が描いた鳥瞰図。当時はまだ本市の範囲ではなかった甲子園地域も、甲子園球場や阪神パーク、鳴尾競馬場などが詳細に描かれています



◀絵葉書「甲子園大運動場開 入場式」

着工から約5カ月で建設された甲子園大運動場。8月1日の開場日には、阪神沿線の児童による陸上競技大会が行われました

▶展示構成

甲子園誕生前

武庫川・枝川・申川、江戸時代の甲子園地域の様子「甲子園」前夜、阪神電車の開通

甲子園誕生

大正13年(1924年)「甲子園」誕生

甲子園誕生後

スポーツ・娯楽の聖地「甲子園」の展開 郊外住宅地「甲子園」の展開

問 市立郷土資料館 (0798・33・1298) (HP) 24743844

「からだ」のことなど相談してみませんか

65歳以上

シニアのための

まちかど健康相談会

気になる「からだ」や「食事」「お口」のことなど、管理栄養士・歯科衛生士・保健師・理学療法士に、気軽に相談してみませんか?身体・握力・口腔機能の測定もできます。



ぜひ、お気軽にご利用ください。

【対象】 おおむね65歳以上の人
【申込】 電話で健康増進課へ(予約優先。予約なしでも参加可)

◆7・8月の日程(★の日は理学療法士も対応)

会場	日程
総合相談支援センター(石劔町)	7月19日(金)午前10時~正午 ★8月23日(金)午前10時~正午
池田庁舎	7月29日(月)午前10時~正午 ★8月26日(月)午前10時~正午
鳴尾支所	8月27日(火)午前10時~正午

※9月以降の日程など詳しくは、本紙25日号(12月は10日号)に掲載の保健だよりや市のホームページで確認を

問 健康増進課 (0798・26・3157) (HP) 45321763

おもしろい科学実験や工作を体験

8/2(金)

西宮湯川記念

こども科学教室

市は、子供たちに科学に親しんでもらい、科学する心を培うことを目的に、科学工作などを体験する「西宮湯川記念こども科学教室」を開催します。



参加費無料。ぜひ、ご参加ください。

【日時】 8月2日(金)第1部...午前10時半~午後0時半
第2部...午後1時半~3時半

【会場】 フレンテホール

【対象】 小・中学生(在学者可)

【定員】 各部100人。多数の場合抽選

【申込】 7月22日までに市のホームページ

(HP) 72184360



西宮と湯川博士のつながり

市は、日本人初のノーベル賞受賞者である湯川秀樹博士が西宮在住時に「中間子論」を提唱したことにちなみ、「西宮湯川記念事業」を実施しています。詳しくは市のホームページ (HP)12468349) で確認を

問 地域学習推進課 (0798・35・5166)



みやたとようかいむらのなつやすみ

イベント情報紙

出張!ようかいむらがやってくる

夏休み期間中に市内外で開催される親子・子供向けイベント情報を紹介する「出張!ようかいむらがやってくる」を7月中旬から配布します。自由研究にも役立つ情報も掲載!楽しい夏休みのお出掛けに、ご活用ください。

【配布】 市役所本庁舎1階総合案内所横等で配布するほか、保育所・認定こども園・幼稚園、公立小学校では個別配布(保育所は3歳児クラス以上)

【イベント開催期間】 7月19日(金)~9月1日(日)

掲載イベントの内容など詳しくは、にしのみや観光協会ホームページで確認を



問 にしのみや観光協会 (0798・31・7821)

披露に向けて企画が進められています。実現することを期待したいですね。



▶五代目の一本松(里中町2丁目)

その松の五代目が、今も里中町の一本松公園にあります。結婚式などで「高砂」が謡われるたびに、鳴尾の松の情景が浮かんでくるようです。この松が平安時代の歌人にも由緒ある松と思うと、ありがたみを感じるとともに、こうした歴史に私たちのまちが登場することを知らると、誇らしい気持ちにもなります。さて、能には「高砂」だけでなく、「西宮」という演目もあります。これは室町時代の作品で、西宮神社(広義での廣田神社)を舞台とし、荒戒の神・龍神・末社の神などが登場する荘厳な舞の舞台です。こちらは平成2年に西宮在住の能楽師によって復曲・上演されたそうですが、市制100周年となる来年度にも、この演目の披露に向けて企画が進められています。実現することを期待したいですね。

鳴尾なる一本松へ 南風

